No.130
2011 9

学院だより

つくばフェスティバル 2011 へ筑波学院大学教員と学生が参加。「花で描こうフラワーアート」では本学教員がデザインし、教員、学生スタッフが協力して震災復興の願いをこめた季節の花で青い鳥を描きました。

筑波学院大学では、３月下旬に実施予定であった春期就活ガイダンスが震災で中止になったため、急遽１日間でしたが４月に実施しました。

目　次

○　東京家政学院大学・大学院…… 1～2P
○　筑波学院大学…… 3～4P
○　東京家政学院中学校・高等学校… 5～6P
○　平成 24 年度入試日程 …… 7～8P
○　学校法人東京家政学院…… 9P
○　東京家政学院大学附属図書館…… 10P
○　社会のなかで、研究室紹介…… 11P

発行　学校法人　東京家政学院
〒 102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地
Tel.　03-3262-2251（代表）　Fax.　03-3262-2174

東京家政学院大学
TOKYO KASEI - GAKUIN UNIVERSITY

楽しい時間を一緒に過ごした留学生・地域サポーター・在学生・教職員達（夏の国際交流月）

町田キャンパス
〒194-0292　東京都町田市相原町 2600 番地
TEL：042-782-9811（代）
千代田三番町キャンパス
〒102-8341　東京都千代田区三番町 22 番地
TEL：03-3262-2251（代）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/

夏の国際交流月　中国祭り

今年の夏の国際交流月（6月）は、「中国祭り」というテーマで、国際交流会が中心となりイベントを実施しました。

まずは、一ヶ月間、町田と千代田三番町の両キャンパスに掲示を出して中国を紹介。記事の中では、特に本学に在籍する中国人留学生へのインタビューに注目が集まったようです。ふだん一緒に勉強している仲間が、日本の文化や生活をどう思っているかを知ることは新鮮な驚きでした。

また、6月27日には千代田三番町で、28日には町田で中国カフェ「阳光（陽光）」が開かれ、学生、教職員、地域サポーターの皆さんが大勢参加しました。中国のもので飾られた会場では、中国茶と中国のお菓子を味わいながら、中国人留学生の話を聞くことができ、テレビや本とは違った「身近な中国」を感じる一時となったようです。笑いあり、発見あり、出会いありの楽しい会だったとの感想が多数寄せられました。

デジタルサイネージ（電子掲示板）の設置について

千代田三番町キャンパスのリニューアルに併せて、2階学生ラウンジに学内掲示用ディスプレー8台、玄関ロビーに移動式ディスプレー2台が設置されました。

学内掲示用ディスプレーでは、休講情報など授業に関する情報、学生の呼び出し、就職講座の案内など、学生生活に関する情報を伝える掲示板として活用されています。

また、ロビーに設置されている移動式ディスプレーでは、入学式、オープンキャンパスなどのイベント時の案内板として活用されています。

デジタルサイネージ（電子掲示板）では、既存の紙での掲示やポスターと比べ、カラー表示や画像を多用することにより学生の注目度が高まることや、時間・場所にあわせた掲示により学生へダイレクトに情報を伝えることができるなど学生のみならず教職員からも好評を得ています。

「公開講座」について

平成23年度春・夏季公開講座が、現代家政学科と健康栄養学科の千代田三番町キャンパスへの移転後はじめて、リニューアルされた同キャンパスと従来の町田キャンパスにおいて開催されました。

千代田三番町キャンパスの講座は、6月4日から冨永准教授による「季節の料理」と、6月11日から林教授による「味噌づくり・コンニャクづくり」であり、同キャンパスで実績がないという環境にもかかわらず、多くの受講者があり、これからの同キャンパスでの公開講座にとって、良いスタートとなりました。また、町田キャンパスの講座は、7月2日から小野教授と吉川教授による「カウンセリング入門」であり、初めての内容となる講座でしたが、こちらも多くの受講者がありました。秋・冬季講座が、さらに期待されます。

震災後の対応・経済的支援について

東日本大震災発生後から大学・学友会・光塩会（同窓会）・法人が一体となり、被災した在学生並びに新入生のために募金活動を行いました。この活動の中、昨年、本学と協定校の覚書きを交わした釜山女子大学（大韓民国）からも、東京家政学院大学に対して義援金が送られました。

これらの義援金は、東京家政学院大学・筑波学院大学・東京家政学院中学・高等学校にそれぞれ配分され、本学では特に被災状況が甚大な５人の学生に対して、天野学長が直接渡されました。

また、学友会は入学式当日、千代田三番町キャンパスで募金活動をおこない、集まった義援金を被災地からの新入生へ全額渡しました。

このほかに本学では、震災した在学生に対して家屋の被災状況並びに主たる家計支持者の収入状況により、入学金および授業料等を減免する経済的支援を実施しています。

千代田三番町・町田でオープンキャンパス本格展開

公開講座「季節の料理」講義風景

待望の2キャンパス活動のスタートに伴い、オープンキャンパスも2キャンパスの特性を活かしてホットな夏を迎えました。当初3月28日（日）を予定していましたキックオフは、東日本大震災とその後の計画停電等の環境の激変で4月24日（日）に延期しましたが、両キャンパス合わせて昨年の1.6倍の来場者があり、〝待ち望まれていた〟ことがよくわかりました。千代田三番町でのオープンキャンパスが文字どおりお目見えシーズンとなって多くの来場を得、現代家政学科・健康栄養学科の千代田三番町、生活デザイン学科・児童学科・人間福祉学科の町田というキャンパス展開が高校生・保護者によく浸透していると思われます。

千代田三番町でも「学食」体験開始。

保護者向けの説明会では就職支援状況もお話ししました。

福島・川俣応援チャリティコンサート報告

２０１１年６月２６日（日）、震災と原発被害を受けた福島県伊達郡川俣町を応援するチャリティ・コンサート「がんばれ！コスキン・エン・ハポン」が東京家政学院大学共催、アルゼンチン・ボリビア・パラグアイ・ペルー大使館後援のもと千代田三番町キャンパス大江スミ記念ローズホールで開催されました。３５０枚のチケットが販売され、３２０名の方が会場にお越しになりました。ボランティア出演は、ボリビアケーナ奏者木下尊惇さん、パラグアイハープ奏者ルシア塩満さんなど南米フォルクローレの音楽家たち計10名で、コンサートの最後には来場者の方たちとペルーダンスを輪になって踊りました。必要経費を差し引いた収益金の59万円はＮＰＯ法人「川俣町教育委員会・かわまたまちケーナの響くまちづくり実行委員会」に7月13日に送られました。この収益金は、川俣の住民の方々が元気になれるような文化活動に利用される予定です。6月25日（土）の朝日新聞朝刊にもコンサートは大きく取り上げられました。

学生天国ファッションショー第４部「祈り」のシーン

ローズホールで行なわれたチャリティコンサートの演奏者たち

学生天国 Fashion show 2011
「Pray for Japan」～祈り～

今年のファッションショーは、いつもの華やかなショーとは異なります。

あの震災の大きな傷跡を見て動揺した学生たちは、「今、私たちには何ができるのだろう」と以前から進めてきたショーの企画を大きく変更させました。

辿り着いたテーマは「Pray for Japan」、すなわち、辛くて壊れそうな心の悲しみから、１日でも早く明るい笑顔を取り戻してほしいと、復興への希望の光を「祈り」にのせてこのファッションショーを開催いたしました。

ショーは、紫色の菫の妖精が光の方向へと誘導し、「闇の中から羽ばたく未来へ」のドレスに祈りをこめて、皆で立ち上がろうと熱い願いを発信しました。

終演後には義捐金を募る活動を行い、皆様の祈りとともに集まりました義捐金は、八王子学生委員会を通して被災地に届けられました。

筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

〒305-0031　茨城県つくば市吾妻 3-1
TEL：029-858-4811（代表）
FAX：029-858-7388
URL　http://www.tsukuba-g.ac.jp

東日本大震災に対応した災害ボランティアの活動状況

3月11日の東日本大震災発生以降、本学の学生は、日頃培った市民レベルでのネットワークを活かして、つくば市内での物資の搬出入活動に始まり、被災地に入れるようになってからは、福島県いわき市での瓦礫撤去・泥だし作業、宮城県気仙沼市での避難所支援活動等、様々な形で災害ボランティア活動を行ってきました。施設貸出の貢献面では、5月以降毎週末、定期的にいわき支援のボランティアバスの発着場として筑波学院大学が首都圏の拠点として機能してきました。

また、宮城県気仙沼市の僻地にあり、支援の届き難い避難所「鶴ヶ浦生活文化センター」では、6月上旬には花や野菜の苗を植えてきたり、本学学友会が避難所の玄関と屋外仮設浴場の入口2ヶ所に「のれん」を作ってくれたため、7月上旬には、その取り付けを行ってきました。

今後も引き続き、これまでに築いてきた信頼関係を大切にしながら、いわき市や気仙沼市の避難所や仮設住宅での活動に加えて、夏休みには、放射能問題の影響で屋外で遊べないいわき市の子供たちをつくばに招いたりするなど、被災地の復興に少しでも貢献できるような支援活動を、様々な方々と協力しながら行っていきます。

被災した図書館の状況

筑波学院大学附属図書館被災状況

平成23年3月11日（金）の東日本大震災により、図書館配架図書資料のうち、約4割（推定35，000冊）が書架から落下し、落下して重なり合った図書資料の厚みは、40ｃｍに及びました。落下防止機（ブックキーパー）を設置した書架からも落下し、地震による揺れがかなり大きかったことがうかがえます。また、地震直後、2Ｆ東側天井の空調配管より水が漏れ、同日夜には再び水漏れが生じ、2Ｆの書架部分のほぼ全面と、1Ｆ参考図書の低書架の一部及び事務室内の床に水が溢れました。天井からの漏水や、カーペットの水分で図書資料は水を含みカビが発生し、さらに、漏水した天井近辺の書架に配架されていた図書資料は、落下せずとも濡れてしまいました。現在までに廃棄した資料数は約8，000冊です。浸水したカーペットの吸水、落下資料のピックアップ、資料数のカウント、資料の吸水作業、廃棄資料の搬出などの作業を経て、全図書資料の点検・データ処理及び廃棄を行い、7月25日からは通常開館を実施しました。

高大連携について

茨城県の高大連携で、三名の教員が常総市の石下紫峰高等学校に協力しており、大島慎子教授は観光の授業を担当しています。大学の教育内容を理解することで高校生の進路選択に役立てることが目的ですが、大学の広報活動としても有意義なものです。

授業では、観光を文化としてだけとらえるのではなく、欧米アジア諸国のように産業としてとらえ、地域振興や経済発展にどう役立てるのか、そして日本は外国人観光客を増やすために、どのように情報発信しているのかを中心に、解り易く伝えるのが重要な課題です。

ビジュアルの多いパワーポイントや映像を利用して高校生が興味をもつ資料作りを心掛け、また観光を学習するとどのような仕事に就けるのか、また地域が発展する具体例など、現実的な事例が興味を惹くようです。このような授業をきっかけとして、大学のオープンキャンパスに訪れた生徒も複数おり、高大連携がより成果があがるよう教員達は活動しています。

自宅外通学生が学長を囲む会

2011年6月1日（水）に、自宅外通学生が学長を囲む懇親会が開催されました。

自宅外通学生、すなわち、家族と離れ、一人暮らしをしている学生を学長が励まし、ねぎらう会です。一番遠くは沖縄の学生で、その他、福島、千葉、東京など、県内は、水戸、日立、大子などからの学生が集まりました。

和やかな雰囲気の中で自己紹介が行われ、それぞれの地域の様子、震災被害の様子、一人暮らしでの自炊の様子などいろいろな話題が出ていました。ジャグリングサークルの学生によるパフォーマンスも行われ、親睦を深めることができました。

第１回目の宮寺教授の講演における
ディスカッション風景

さらに参加した学生は、先輩や三石学長をはじめ各先生からひとり暮らしについてのアドバイスをいただき、有意義な会となりました。

筑波学院大学エクステンション・センター連続特別講座はじまる

筑波学院大学エクステンション講座は2010年より語学講座、教養講座を中心に始まり、好評を得ています。そこで、2011年からは専任教員によるオムニバス講義で構成する特別講座を始めました。テーマは「21世紀を考える―筑波学院大学からの発信」とし、教員が思うところを自由に講演し、教員の研究、あるいは夢を紹介し、外部に大学の理解を深めてもらおうとしています。2011年春期は6名の教員が、それぞれ特徴ある題目で講演を行い、講演後の茶話会でフリーディスカッションをするという形式で実施しています。

サークル活動状況

本学のサークル活動への参加率は、同好会も含め全学生の6割を占めており、3年生に至っては8割近い学生が何らかの団体に所属しています。昨年度から「ジャグリングサークル」や「女子会」等、新規サークルも発足し、それぞれ学内外に於いて積極的な活動を展開している状況です。

活動が活発なサークルとして、3つの団体で構成される軽音楽サークルは新入生歓迎会ライブで大いに会場を盛り上げ、今年度は既に2度の学内ライブを実施しています。4限目終了後に学内に漏れ聞こえてくるドラムの音やボーカルの声は日々の大学の当たり前の音風景の一つとして定着しています。また、発足したばかりの「女子会」では独自のブログの立ち上げや、外部講師を招いての「ヨガ教室」の開催など、学内に納まることなく大いに「女子力」を発揮し、今後の活動が期待されます。

2011 年度春期特別講座

月　日	講演者	講演題目
5 月 14 日	宮寺 晃夫 教授	成長社会／成熟社会 ―その生き方と 育て方のちがい―
5 月 28 日	吉田 真澄 教授	心の豊かさと コンピュータ時代
6 月 11 日	坂本　要教授	メディアと コミュニケーション
6 月 25 日	石田　収 教授	世界では今、 何が起きているか
7 月 9 日	浜田 利満 教授	あなたはロボットと 一緒に暮らせる？
7 月 23 日	大島 愼子 教授	戦略的な日本の 魅力発信法

学友会活動

今年度の学友会活動に於きましては、例年実施している「まつりつくば」への参加見送りや中華大学からの研修生受け入れの中止など、今回の震災に伴い大きな行事の変更が相次ぎました。新入生を迎え、新体制となった学友会に於いてこれらの恒例行事に代えて今できることを話し合った結果、東日本大震災義捐金募金活動及び、震災で大きなダメージを受けた本学図書館の復興ボランティア活動の実施に至りました。6月6日から始まった募金活動は、既に多くの学生や教職員が何らかの形で募金を済ませていた時期でしたが、6万円を超える募金が集まり、読売新聞を通して全額を被災地に送ることができました。また、学友会役員が交代でボランティアに当たっていた図書館も4カ月目にして開館に至りました。恒例の夕涼み会も終了し、今後の学友会活動としては10月に実施されるＫＶＡ祭への参加準備に取組んでいく予定です。

全国大学実務教育協会資格取得者表彰式

本学では、決められた科目の単位を修得することによって全国大学実務教育協会の認定する資格を取得することができます。情報コミュニケーション学部では「上級情報処理士」と「ウェブデザイン実務士」、経営情報学部ではそれらに加え「上級ビジネス実務士」と「観光ビジネス実務士」の資格を取得することができます。

2005 年から、上級情報処理士に 143 名、ウェブデザイン実務士に 94 名が認定されており、今年度も上級情報処理士に 27 名、ウェブデザイン実務士に 13 名が登録されています。

資格認定証は年に 2 回交付され、今回認定があったのは平成 22 年度 3 月期資格認定対象者で、2011 年 5 月 9 日に資格認定証交付式が行われ、学長から認定証が授与されました。認定者数は、上級情報処理士 7 名とウェブデザイン実務士 1 名です。

東京家政学院中学校・高等学校
TOKYO KASEIGAKUIN JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

新しくなった正面メモリアルゲート（正門）

〒102-8341
東京都千代田区三番町 22 番地
TEL.03-3262-2255（中学）
TEL.03-3262-2256（高校）
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/chuko/
E-mail:koho@chuko.kasei-gakuin.ac.jp

平成23年度生徒会役員決定

○高校生徒会執行部

生徒会長
高校２年
ヤジッド アウファさん

家政学院での学校生活は5年目になり、日に日に、受験への意欲も強まってきました。高校２年になり、文化祭や体育祭などの学校行事の運営は私達生徒会にすべて任されているので、責任を感じています。勉強と軽音部の活動や生徒会執行部の仕事との両立は大変ですが、これらの一つ一つを真剣に取り組むことにより、自分に自信を持つことができるようになりました。また、友達との何気ない会話があるからこそ、ここまで楽しい学校生活が送れたのだと思います。これからも充実した学校生活を過ごしたいと思っています。

※平成23年度中学生徒会長・副会長は４月の学院だよりでお知らせしています。

千代田区剣道大会優勝＆二段取得！【中学剣道部】

7月10日に行われた千代田区剣道大会（中学生女子の部・個人戦）で本校剣道部が優勝しました。また、中学３年生が２段を取得！今度は３段を目指します。７月22日には都大会に出場しました。

【吹奏楽部】吹奏楽部より、義援金を送りました!!

３月27日（日）文京シビック大ホールにおいて開催いたしました第18回定期演奏会において、ご来場の皆様からお預かりいたしました、義援金（２７２，９４６円）を、４月6日に「日本赤十字社 東北関東大震災 義援金」へ送金いたしましたことを、ご報告いたします。ご協力ありがとうございました。

尚、来年３月30日（金）「ティアラこうとう」で開催予定の、第19回定期演奏会でも、同様の趣旨で募金活動をさせていただきたいと、考えております。皆様のご来場を心よりお待ちいたしております。

第47回常磐祭のお知らせ

今年の第47回常磐祭のテーマは「凛娘」（りんご―凛とした女性）に決まりました。

10月1日（土）、２日（日）に本校で行なわれる予定です。皆様のご参加をお待ちしております。なお、ポスターのデザインは高２E組ヤジッド アウファさんです。

中学・高校共通イベント

体育祭（常磐祭第Ⅰ部）	９月７日（水）	11:00 ～ 14:00	東京武道館
文化祭（常磐祭第Ⅱ部）	10 月１日（土）・２日（日）	10:00 ～ 15:00	本　校
合　唱　祭	2012 年１月１９日（木）	14:00 ～ 16:00	練馬文化センター

○受験生・保護者の皆様は予約なしで見学できます。

２０１２年度　東京家政学院　中学校募集要項（抜粋）

試験日	2月1日（水）		2月2日（木）	2月5日（日）	2月9日（木）
	午前	午後	午後	午前	午前
募集人員	４０名	50 名 適性検査 10 名含	20 名	15 名	5 名
集合時間	8:30	15:00	15:00	8:30	8:30
終了時間	2科　10:30 / 4科　11:30	2科・適性検査 17:00	2科　17:00	2科　10:30 / 4科　11:30	2科　10:30 / 4科　11:30
試験科目	午前入試　2科（国語・算数）、4科（国語・算数・理科・社会）選択 午後入試　2科（国語・算数）				
時間・配点	2科：国語・算数　（各４５分、各１００点） 4科：国語・算数　（各４５分、各１００点）社会・理科　（計５０分、各５０点）				
適性検査	《1日・午後》のみ実施　作文（４５分）・総合問題（４５分）１０名募集				
出願受付	窓口：１月２０日（金）～入試当日［日曜を除く］　９：００～１６：００ 郵送：１月２０日（金）～１月２６日（木）　消印有効				
検定料	２０，０００円（複数受験可、適性検査・チャレンジ入試を含む）				
特待生制度	全ての入試において特待生を選抜します。（適性検査を除く） 得点率８０％以上・・・入学金および授業料　全額免除 得点率７５％以上・・・入学金および授業料　半額免除 得点率７０％以上・・・入学金　免除				
特別進学コース選抜	全ての入試において特別進学コースを選抜します。（適性検査を除く） 得点率６５％以上を基準とします。				
チャレンジ入試	既合格者を対象に、特待生・特別進学コースの再受験ができます。（１日午後・２日・５日）				
合格発表	〈午前入試〉◇掲示・・・入試当日　１４：００～１５：００　◇ＨＰ・・・・入試当日　１４：００～２０：００ 〈午後入試〉◇掲示・・・入試当日　１０：００～１１：００　◇ＨＰ・・・・入試当日　２１：００～翌日　９：００				
入学手続	入試当日～２月１０日（金）《日曜を除く》　９：００～１６：００				
入学金	２５０，０００円				

２０１２年度　募集要項のポイント

1．試験日	2/ 2午前は実施しません。
2．募集人員	合格ラインは得点率５５％です。（2011 年度入試　各回平均）定員にこだわらず合格者を出します。
3．集合時間	午後入試は余裕を持って受験できます。
4．終了時間	筆記試験で終了です。面接は行いません。
5．試験科目	４科受験生は２００点満点に換算して選考します。科目ごとの基準点は設定せず、合計点で選考します。
6．時間・配点	基礎問題を中心に出題します。難問、奇問はありません。
7．適性検査	公立中高一貫校と同じ形式で出題します。作文のテーマは事前に伝えます。
8．出願受付	当日出願は集合時間まで可能です。
9．検定料	１回の受験料で複数回受験できます。
10．特待生制度	授業料免除は１ヵ年が対象です。次年度への継続は審査の上、決定します。
11．特別進学コース選抜	得点率が基準を超えた合格者は全て特別進学コース合格となります。入学手続の際に総合進学コースへ変更することも可能です。
12．チャレンジ入試	複数回受験が可能です。2/9 入試では実施しません。
13. 合格発表	すべて当日に行います。合格通知を本校入試窓口にてお受け取りください。
14．入学手続	合格通知を必ずお持ちください。必要書類をお渡しします。
15．入学金	返還、延納は実施しておりません。

ご不明な点はお問い合わせ下さい。

東京家政学院　入試事務室
電　話　０３－３２６２－２５５９（入試専用ダイヤル）
ＦＡＸ　０３－３２６２－２２２３
ホームページ　http:// www .kasei-gakuin.ac.jp/chuko/

２０１２年度　東京家政学院　高等学校募集要項（抜粋）

1．推薦入試
推薦入試を希望される方は、事前相談が必要です。詳細は、募集要項をご覧下さい。

推薦方式	①単願推薦　②併願推薦　③自己推薦
募集人員	４０名
出願期間	１月１８日（水）・１月１９日（木）
試験日	１月２２日（日）
合格発表	当日発表
入学手続	①単願推薦・③自己推薦　１月２２日（日）～２３日（月） ②併願推薦　１月２２日（日）～公立高校前期発表翌日

2．一般入試（併願優遇希望者も含む）
併願優遇を希望される方は、事前相談が必要です。詳細は、募集要項をご覧下さい。

募集人員	４０名
出願期間	１月２５日（水）～　２月７日（火）
試験日	２月１０日（金）
合格発表	当日発表
入学手続	２月１０日（金）～　公立高校前期発表翌日

大江スミ奨学金について

本年度から、中学校２・３年生及び高等学校２・３年生に対しても授業料の減免が受けられる制度ができました。

この制度が受けられる生徒は、前年度に優秀な成績を修め、良好な生活態度で、高校卒業時まで、本学院の生徒として学業を続ける意志のある者とします。

２０１２年度入試（2011 年度実施）校内説明会

※《キャンパスツアー》はすべて土曜日 11:00 ～です。

中学校

キャンパスツアー	説明会		
９月 17 日	９月 22 日（木）	19:00	夜の説明会
11 月 19 日	10 月 12 日（水）	10:00	授業公開
１月 28 日	11 月５日（土）	14:00	オープンスクール
	11 月 22 日（火）	19:00	夜の説明会（Ⅱ）
	12 月３日（土）	10:00, 14:00	過去問題対策
	１月 14 日（土）	10:00, 14:00	入試直前対策
	12 月１日（木）から １月 28 日（土）まで		入試直前 個別相談期間

高等学校

キャンパスツアー	説明会		
９月 10 日	10 月 12 日（水）	10:00	授業公開
９月 24 日	10 月 29 日（土）	14:00	学校説明会
11 月 12 日	11 月 26 日（土）	14:00	入試問題対策
	12 月１日（木）から １月 28 日（土）まで		入試直前 個別相談期間

○予約は、ホームページまたはファクシミリでお受けしております。
○各行事は事情により変更される場合があります。
本校ＨＰでご確認下さい。

東京家政学院大学・大学院　平成 24 年度入試日程

◎東京家政学院大学

ＡＯ入試

入試種目	日程	エントリー期間	面談日	出願期間	合格発表
ＡＯ入試	１期	８月１日（月）～ ８月16日（火）	８月25日（木）	９月１日（木）～ ９月12日（月）	９月16日（金）
	２期	８月１日（月）～ ９月８日（木）	９月17日（土）	９月21日（水）～ ９月29日（木）	10月４日（火）
	３期	８月１日（月）～ ９月29日（木）	10月８日（土）	10月12日（水）～10月20日（木）	10月25日（火）
	４期	８月１日（月）～10月20日（木）	10月29日（土）	11月１日（火）～11月10日（木）	11月15日（火）
	５期	８月１日（月）～11月24日（木）	12月３日（土）	12月６日（火）～12月12日（月）	12月15日（木）

※健康栄養学科は１期～３期のみ実施しエントリー期間が上記と異なりますので、詳しくは大学案内をご覧下さい。
※面談会場は、現代家政学科・健康栄養学科は千代田三番町キャンパス、生活デザイン学科・児童学科・人間福祉学科は町田キャンパスで実施

推薦入試

区　分	大　学　院	東京家政学院大学・現代生活学部
	人間生活学研究科	現代家政学科 健康栄養学科 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科
出願期間	平成23年８月29日（月）～ ９月12日（月）	（Ａ日程）郵送受付：平成23年10月20日（木）～10月28日（金） 窓口受付：平成23年10月31日（月）
		（Ｂ日程）郵送受付：平成23年11月９日（水）～11月18日（金） 窓口受付：平成23年11月21日（月）
試験日	平成23年９月20日（火）	（Ａ日程）平成23年11月６日（日）
		（Ｂ日程）平成23年11月26日（土）
試験場	町田キャンパス	現代家政学科・健康栄養学科：千代田三番町キャンパス 生活デザイン学科・児童学科・人間福祉学科：町田キャンパス
合格発表	平成23年９月27日（火）	（Ａ日程）平成23年11月８日（火）
		（Ｂ日程）平成23年11月29日（火）

一般入試

区　分	大　学　院	東京家政学院大学・現代生活学部
	人間生活学研究科	現代家政学科 健康栄養学科（Ｃ日程を除く） 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科
出願期間	（４月入学・前期） 平成23年９月５日（月）～９月12日（月） （４月入学・後期） 平成24年１月27日（金）～２月３日（金） （９月入学） 平成24年７月２日（月）～７月９日（月）	（Ｓ日程）平成24年１月５日（木）～１月13日（金） （Ａ日程）郵送受付：平成24年１月５日（木）～１月19日（木） 窓口受付：平成24年１月20日（金） （Ｂ日程）郵送受付：平成24年１月23日（月）～２月８日（水） 窓口受付：平成24年２月９日（木） （Ｃ日程）郵送受付：平成24年２月23日（木）～３月５日（月） 窓口受付：平成24年３月６日（火）
試験日	（４月入学・前期） 平成23年９月20日（火） （４月入学・後期） 平成24年２月13日（月） （９月入学） 平成24年７月18日（水）	（Ｓ日程）平成24年１月21日（土） （Ａ日程）平成24年２月１日（水）、３日（金）のいずれか１日または両日 （Ｂ日程）平成24年２月16日（木） （Ｃ日程）平成24年３月14日（水）
試験場	町田キャンパス	（Ｓ日程）千代田三番町キャンパス・町田キャンパス・仙台・新潟・宇都宮・甲府・長野・静岡 （Ａ・Ｂ日程）千代田三番町キャンパス・町田キャンパス （志願者選択） （Ｃ日程）現代家政学科：千代田三番町キャンパス 生活デザイン学科・児童学科・人間福祉学科：町田キャンパス
合格発表	（４月入学・前期） 平成23年９月27日（火） （４月入学・後期） 平成24年２月18日（土） （９月入学） 平成24年７月24日（火）	（Ｓ日程）平成24年１月25日（水） （Ａ日程）平成24年２月４日（土） （Ｂ日程）平成24年２月17日（金） （Ｃ日程）平成24年３月15日（木）

センター試験利用入試

区　分	東京家政学院大学・現代生活学部
	現代家政学科 健康栄養学科 生活デザイン学科 児童学科 人間福祉学科
出願期間	（Ａ日程）郵送受付：平成24年１月16日（月）～２月３日（金） 窓口受付：平成24年２月６日（月） （Ｂ日程）郵送受付：平成24年１月30日（月）～２月10日（金） 窓口受付：平成24年２月13日（月） （Ｃ日程）郵送受付：平成24年３月８日（木）～３月19日（月） 窓口受付：平成24年３月21日（水）
試験日（センター試験）	平成２４年１月１４日（土）、１５日（日）
合格発表	（Ａ日程）平成24年２月９日（木） （Ｂ日程）平成24年２月17日（金） （Ｃ日程）平成24年３月23日（金）

※推薦入試、一般入試、センター試験利用入試ともに窓口受付は町田キャンパス入試広報グループ窓口に限ります。

○募集人員

入試方法 ＼ 区　分		大学院	東京家政学院大学・現代生活学部				
		人間生活学研究科					
		生活文化専攻	現代家政学科	健康栄養学科	生活デザイン学科	児童学科	人間福祉学科
ＡＯ入試		４月入学生（前期・後期）・９月入学生、合わせて１０名	15	15	20	15	10
推薦入試	Ａ日程		50	28	50	30	30
	Ｂ日程		10	5	3	4	4
一般入試	Ｓ日程		10	10	10	6	5
	Ａ日程		20	25	20	15	15
	Ｂ日程		3	8	5	3	5
	Ｃ日程		2	－	2	2	2
センター試験利用入試	Ａ日程		5	9	5	3	5
	Ｂ日程		3	4	3	1	2
	Ｃ日程		2	1	2	1	2
計		10	120	105	120	80	80

筑波学院大学　平成 24 年度入試日程

入試区分	セミナー開催日	出願期間（消印有効）	試験日 本面談日	合格発表	募集人員
推薦入試　Ａ日程【奨学生 / 指定校 / 公募 / 卒業生】		10/24（月）～ 11/２（水）	11/13（日）	11/17（木）	70
推薦入試　Ｂ日程【指定校 / 公募 / 卒業生】		11/21（月）～ 12/２（金）	12/11（日）	12/15（木）	10
一般入試　Ａ日程		１/16（月）～ ２/２（木）	２/11（土・祝）	２/15（水）	30
一般入試　Ｂ日程		２/13（月）～ ２/22（水）	３/３（土）	３/８（木）	15
センター試験利用入試　Ａ日程		１/30（月）～ ２/９（木）	1/14（土）・1/15（日）	２/20（月）	10
センター試験利用入試　Ｂ日程		３/５（月）～ ３/13（火）		３/22（木）	5
ＡＯ入試【セミナー型】	① 6/19（日） ② 7/10（日）	８/１（月）～ ８/11（木）	セミナー受講結果と出願書類の総合判断【本面談なし】	９/１（木）	60
ＡＯ入試【セミナー型】	③ 10/２（日）	10/７（金）～ 10/13（木）	セミナー受講結果と出願書類の総合判断【本面談なし】	10/20（木）	
ＡＯ入試　１期　予備面談型		９/１（木）～ ９/７（水）	９/18（日）	９/22（木）	
ＡＯ入試　２期　予備面談型		11/７（月）～ 11/16（水）	11/27（日）	12/１（木）	
ＡＯ入試　３期　予備面談型		１/６（金）～ １/16（月）	１/22（日）	１/26（木）	
ＡＯ入試　４期　予備面談型		３/１（木）～ ３/12（月）	３/18（日）	３/22（木）	
社会人入試		１/６（金）～ １/16（月）	２/５（日）	２/９（木）	若干名
外国人留学生入試　Ａ日程		９/５（月）～ ９/15（木）	10/８（土）	10/20（木）	若干名
外国人留学生入試　Ｂ日程		１/６（金）～ １/16（月）	２/５（日）	２/９（木）	若干名
一般編入学試験		10/24（月）～ 11/２（水）	11/27（日）	12/１（木）	若干名
外国人留学生編入学試験		１/６（金）～ １/16（月）	２/５（日）	２/９（木）	若干名

東京家政学院大学　オープンキャンパス日程

千代田三番町校舎

開催日	曜日	時　間
９／４	日	10:00 ～ 16:00
10／２	日	10:00 ～ 16:00

町田校舎

開催日	曜日	時　間
９／11	日	10:00 ～ 16:00
11／12	土	※ KVA 祭同時開催
11／13	日	

※事前予約不要、入退場自由　お気軽にお越しください。

筑波学院大学　オープンキャンパス日程

開　催　日		
第７回	９月11日（日）　10：30～	
第８回	10月22日（土）・23日（日）	ＫＶＡ祭同時開催
第９回	11月20日（日）　10：30～	
第10回	２月26日（日）　10：30～	
第11回	３月25日（日）　10：30～	

（お問い合わせ先）

東京家政学院大学・大学院　〒 194-0292　東京都町田市相原町 2600 番地　入試広報グループ　TEL　０４２－７８２－９４１１
筑波学院大学　〒 305-0031　茨城県つくば市吾妻３－１　入試・広報課　TEL　０２９－８５８－４８１５

筑波学院大学　入試・広報課からお知らせ

高校教員対象キャンパス説明会を開催

平成23年５月24日、高校の先生方を対象にキャンパス説明会を開催しました。

「２０１１年度大学入試結果報告と２０１２年度の展望」について、株式会社進研アド尹錫洋氏に講演をお願いしました。私達自身にも、大変勉強になる貴重な内容でした。

横瀬学部長から学部紹介のほか、本学の取り組みについて説明を行い、木村就職委員長から卒業後の進路について、丁寧な報告がありました。高藤教授からは今年度からセンター入試に参加するほか、入試についての説明がなされました。

また、今年度は授業見学を実施しました。母校の先生を見つけ、授業終了後、挨拶に訪れ、大学生活を報告している学生もいました。

最後は、リラックスした和やかな雰囲気で懇談会が行われ、コーヒーを飲みながら、熱心に語り合う本学の教員の対応に、参加していただいた高校の先生方には真摯さを伝えることができました。

オープンキャンパス／デザイン・アニメフェス同時開催

平成23年６月19日、中川ゼミ・高嶋ゼミの協力のもと、「デザイン・アニメフェス」としてオープンキャンパスと同時開催されました。午前中は通常のオープンキャンパスを実施しました。東日本大震災の影響もあり、４月５月の参加者は前年を下回る人数でしたが、今回は、多数の高校生、保護者の方に参加していただけました。

横瀬学部長のあいさつのあと、本学の掲げる「今日、ひとり立ち宣言。」の説明を大島教授が行い、高藤教授から入試についての説明がされました。学生スタッフひとりひとりも、来学者に笑顔で接していました。

デザイン・アニメフェスは、高校生の興味関心が高いことと、中川・高嶋両ゼミの自分の作品を発信したいとの強い気持ちから実現したものです。

学生のイラストやデザイン画などの展示のほか、高藤ゼミ、山島ゼミの展示もあり、プログラミングの楽しさも体験できました。さらに、アニメのアフレコ体験ができたことも、非常に好評でした。

今後、特別講演を実施するイベント型オープンキャンパスや、経営・経済系／システム開発系のイベントの開催も予定しています。

高校生、保護者の方に楽しく、体験しながら本学を知っていただけるよう工夫しています。

東京家政学院オリジナル・グッズ

学校法人 東京家政学院

Knowledge
Virtue
Art

知識を高める
徳性を養う
技術を磨く

学校法人東京家政学院
〒102-8341
東京都千代田区三番町22 番地
（代表電話番号）03-3262-2251
URL http://www.kasei-gakuin.ac.jp/houjin/

オリジナル・グッズができました

このたび、東京家政学院は校章をモチーフにオリジナル・グッズを作成しました。東京家政学院大学生活デザイン学科の藤居眞理子・佐々木麻紀子両先生の企画制作、松本幸子先生のデザインによるものです。藍地にＫＶＡの文字が鮮やかに浮き出た、世界でオンリーワンの小風呂敷です。（敷物にもネッカチーフにも使えます。）東京家政学院の広報の一環として、ご活用ください。

大江記念三番町図書館開設

大江記念三番町図書館が地下一階にリニューアルしました。館内の広さは以前の三倍、七万冊が収蔵可能でＩＣタグ対応の自動貸出機を導入しました。明るく静かな環境で読書や勉強ができます。

三番町図書館

「東京家政学院創立９０周年記念募金」報告

ごあいさつ　　理事長　山口　孝

平成２５年（2013 年）に創立９０周年を迎えることを記念し、平成 22 年７月から開始いたしました「東京家政学院創立９０周年記念募金」は、１年を経過いたしました。

この間、多数の皆様方からご協力ご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

賜りましたご芳志により、創立９０周年記念事業として千代田三番町、町田、筑波の各キャンパス等の教育環境整備を図ってまいります。

今後とも、創立９０周年記念事業を推しすすめていくため、何卒、皆様方の倍旧のご協力ご支援をお願い申し上げます。

平成 23 年７月 31 日現在

	＜寄付件数＞	＜寄付金額＞
個人※	1308 件	38,235,400 円
法人	6 件	4,310,000 円
団体	7 件	330,000 円
合計		42,875,400 円

※個人寄付者内訳

光塩会	730 件	12,150,730 円
あづま会	125 件	1,644,040 円
光塩会・あづま会	49 件	823,380 円
役員	23 件	6,255,970 円
教員	103 件	10,996,600 円
職員	41 件	2,239,860 円
在学生保護者	235 件	3,814,820 円
その他	2 件	310,000 円
計	1308 件	38,235,400 円

＜お問合せ先＞
学校法人　東京家政学院
募金事務局　TEL：　０３－３２６２－２２４２
E-mail ： bokin@kasei-gakuin.ac.jp

第４回日本橋美人博覧会　江戸の美意識展　に協賛

江戸文化の彩り―衣・食・遊―展示・講演開催

千代田三番町キャンパス　展示１号館玄関ロビー　講演１２１４教室

10月21日（金）～11月5日（土）　日曜日除く14日間

中央区地域振興活動・日本橋美人推進協議会から、日本橋美人博覧会に参加依頼を受け、千代田三番町キャンパスへの２学科移転を広く伝えるためサテライト会場として協賛参加し、千代田三番町キャンパス１号館玄関ロビーでの展示と、講演を行います。

本学が初の大学参加となります。

●展示　10月21日～11月5日迄
日曜日を除く14日間　10時～17時

大江文庫の錦絵・江戸期染め資料・和更紗・髪飾り・江戸料理復元標本など附属図書館と、生活文化博物館の収蔵品を展示。

●講演　10月29日（土）に開催
10時30分　江原名誉教授
江戸の食と再現料理・江戸エコ行楽重
13時　藤居生活デザイン学科教授
染め　今・昔　―天然染料の色合い―

ご希望の方は、お弁当の予約をいただくと、江戸の料理を再現した「江戸エコ行楽重」を、楠公レストハウスから千六百円で取寄せます。

是非リニューアルされた千代田三番町キャンパスにおいでください。

弁当の予約は図書館で10月26日まで受付けます。

（電話番号）０４２―７８２―９８１５

●スタンプラリーにも参加
４箇所のスタンプが押されると、記念品がもらえ、別途に抽選で賞品がもらえるチャンスもあります。参加賞も検討中ですのでご期待ください。

10月22日（土）は、協賛の五街道ウォークラリーの給水ポイントとして協力し、１００名以上の方が本学を見学される予定です。

日本橋美人博覧会　江戸の美意識展は女性の視点・感性で魅力ある街づくりを目的とし、10年以上の歴史を持つ日本橋ＯＬクラブが、日本橋美人プロジェクトを立ち上げ、東京中央ネットＮＰＯ法人が推進協議会をつくり、参加企業の山本海苔店・榮太郎本舗・千疋屋などの老舗企業中心に、４年前から美人博覧会を開催したものです。

本学の協賛が、学院のＰＲと地域連携企業連携に役立つことを期待します。

大江文庫資料紹介40

災害・飢饉時の倹約料理

東京家政学院大学附属図書館

この度、東日本大震災という大きな災害に見舞われましたが、江戸時代にも大きな地震や火山の噴火、大雨など様々な災害がありました。そしてそのような災害後には、飢饉が起こり、人々はいろいろな工夫を凝らしてしのいでいました。今回は大江文庫で所蔵する料理書・救荒書からそのような飢饉の際の対処法や料理、倹約のための料理がのっている資料をご紹介いたします。

・民間備荒録　明和八年（一七七一）
飢饉に対する事前の備え、普段食べない物である草木の葉などの調理法などを記載しています。

・飢食松皮製法　天明四年（一七八九）
飢饉の際に松の皮を調理する方法が記されています。粉にして雑炊に混ぜていたようです。

・救荒便覧　天保七年（一八三六）
中国や日本の救荒書から、有用な情報を選び作成した書物。日々の心得や、飢饉時の対応、食べられる物とその調理法、様々な事がまとめられています。

・大倹約めしのたきやう
倹約のためのご飯の炊き方を記載している番付。麦飯、大根飯、粥などのご飯名と、どのくらいお得かが上段に記してあり、下段にはそのご飯の炊き方が記されています。

社会のなかで

地域での暮らしを支える

東京家政学院大学　人文学部　人間福祉学科卒業
川上　浩子

今の法人に勤めて4年目になります。最初は生活介護事業所で、身体介護中心の現場を2年間、同じく生活介護事業で創作活動中心の現場を1年、そして今年度からは相談事業所で間接的な支援を行っています。

「だれもが地域で暮らせるために」という法人理念で、障害のある方々が地域で生活していく為の支援やお手伝いをしています。

初めの事業所は、医療的ケアが必要な利用者が多く通所されていましたが、施設入所や病院での生活ではなく、住み慣れた地域、自分の家で生活したい、という方の支援を担う通所施設でした。

そこでは利用者の希望をできる限り支えたい、と思う反面、その方の身体面や健康面を考えると自宅での生活は厳しいのでは…とジレンマを感じつつ、それでも自分ができることを考え、毎日通ってくださる利用者の支援をしてきました。

2つ目の事業所は、作業にやりがいを持つ元気な利用者が多く、地域イベントへの参加、地域との交流が多くありました。施設内の活動はもちろん、施設外の活動、また、施設内へ地域の方々を招き入れ交流する機会もあり、地域生活を支えることの大切さを感じました。

今年度からは、相談員として地域に暮らす方々の生活を支援しています。相談員として「だれもが地域で暮らせるために」これからも支援していきたいと思います。

職場での様子

プロフィール

川上　浩子
東京家政学院大学　人文学部
人間福祉学科卒業
（平成19年度卒業）
平成20年4月　社会福祉法人翔の会入職　現在に至る

川上　浩子さん

研究室紹介41

東京家政学院大学

保育臨床心理学研究室

（柳瀬洋美研究室）

児童虐待に象徴されるように、昨今、子どもたちを取り巻く環境は社会の変容と共に厳しいものとなっています。

保育臨床心理学研究室では、臨床心理学的な（悩みや課題などを抱えている相手に寄り添いながら、心理学の専門的な知識や技術を用いて「こころ」の問題にアプローチする）視点から、おもに子育て支援や子どもと子どもをめぐる諸問題についての研究をおこなっています。〝子育て支援は親支援〟―今、目の前にいる子どもたちだけでなく、かつて子どもだった親たちが抱える「子ども時代の心残り」と、今、どう向き合っていくのかも重要なテーマです。多くの学生が保育や教育の現場へ巣立っていくこともあり、ゼミでは、研究に必要な客観的な視点はもちろんのこと、「目の前にいる相手へのまなざし」「実践へ生かす力」も大切にしながら研究に取り組んでいます。その取り組みのひとつが、乳児を対象とした「乳児グループ活動・ぽかぽかひろば」です。本活動は「児童臨床実習」のひとつで、地域在住の0～2歳児とその保護者が月に2回、本学を訪れ、「親も子も参加者も共に育ちあう」ことを大切に活動しています。授業となってまだ3年目の活動ですが、毎年、多くの親子が参加を希望してくださり、今年は16組の親子・20名の乳児が参加しています。活動に参加していた学生の中には、卒業後、今度は保護者として親子で参加している者もおり、後輩たちを温かく見守ってくれています。学生にとって、直接、親とかかわり、親の思いを感じながら子どもたちとかかわるという経験は非常に貴重で、「学びの場」であると同時に「育ちの場」ともなっています。

「共に育つ仲間たち」
―ぽかぽかひろば・七夕

「子育て支援は親支援」
―ぽかぽかひろば・親グループワークの様子